## 再評価結果(平成20年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局国道・防災課 担当課長名:下保 修

		<del></del>			
事業名	  地域高規格道路	事業一般国	道事業	国土交通省	
	一般国道337号 中樹林道路	区分	主体	北海道開発局	
起終点	自:北海道空知郡南幌町南15線西		延長		
 	えべっ えべっぷと 至:北海道江別市江別太			7. 3 km	
事業概要		ᆂᆂᇃᅎᅔᅗᄄᇷᇬ		=+0+b/¥0b~++7 =	
道央圏連絡道路は、千歳市から札幌市を経由し小樽市に至る延長約80kmの地域高規格道路である。こ					
のうち中樹林道路は、南幌町から北海道縦貫道江別東IC間に至る延長7.3kmの区間で、新千歳空港や石狩湾新港へのアクセス向上、物流効率化に寄与する道路である。					
<u>石列/弓刺</u> H-年度			   H – 年	度工事着手	
	事業費 204億円 事業進捗率		供用済延長	O km	
	2車線) (176億円) (暫定2車線	(2%)		I I	
計画交通		10 An l= 14	/=1; -i= dlr \	144.44.4	
費用対效			(残事業)/(事業全体)	基準年上	
分析結果	見 「鎌鉾) 2.9		8/488億円 便益:364/364億円		
	(		· 便益: 88 / 88億円		
		交通事故減少	便益: 37 / 37億円	J	
	fの結果 残事業について感度分析				
	通量変動: B/C=3.1 (交通量 +10%)				
_	業 費 変 動:B/C=2.7(事業費 +10%)				
<del>事業の対</del> 事業の対		B/C=3.1 (事業期間 '	訂一∠∪%0/		
<del>事業の別末寸</del> ・国土・地域のネットワークの構築(地域高規格道路の位置づけあり)					
・円滑なモビリティの確保(現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率)					
<ul><li>物流效</li></ul>	効率化の支援(重要港湾もしくは特定重要港 <mark>湾</mark>			他11項目に該当	
	が地方公共団体等の意見				
小樽港、石狩湾新港、新千歳空港、苫小牧港を抱える地域で、これらを短時間でかつ安全に連絡する道央 権連絡道路は、地域の発展に寄与するとして、4市3町の首長等で構成される道央圏連絡道路整備促進期成					
	iB路は、地域の発展に寄与するとして、4市で J早期整備の要望を受けている。	3町の自長寺で愽以	される担火圏地	里 <b>裕</b> 但路整偏促進期以	
	7年期登偏の妾童を受けている。 R時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<u>!</u>			
	3・14年度に新千歳空港関連が部分供用。	'			
	6年度に美原バイパスが全線供用。				
	道路に接続する国道12号江別道路が平成19 8	9年度に全線供用。			
	態態状況、残事業の内容等 1. 5 年に業工準備展開しなけ、測量・地質調え	 	ᅷᄴᆓᄺᇬᅅᆝ	4 7117	
	<u> 5年に着工準備区間となり、測量・地質調査</u> 進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		進捗率は2%と	こなっている。	
尹素の型 引き続	≛炒が順調でない珪田、ラ後の事業の見通し₹ 売き事業が順調に進んだ場合、平成20年代中	チ Þ頃の暫定2車線供	:用を予定してし	1 <b>5</b> .	
施設の構造や工法の変更等					
設計の	D見直し、低盛土によるコストの縮減を図って	こいる。			
対応方針					
	<u>†決定の理由</u> ○状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、	<b>重要性け変わらな</b>	いレ老えられる	۲	
事業概要		主女山の久りつい	0.C 77 /C -54 c c	٥ لا	
	中樹木	林道路 .3km ⊋			
3-2-4					
	が発展しています。	知言			
(m)					
	・	-			
	東京文文 设备集 長河市市市場後 東京市市市場 大学		Тожа		
	The state of the s				
		型石砂油を ・ 「	/推		
THE THE PARTY OF T					
型地川 東海川 A 例					